

SIAA 会員企業の皆様

## 2024 年度定時総会結果報告

一般社団法人抗菌製剤技術協議会



日頃より SIAA の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

本年度の総会は、5/26 に発信した通り、諸事情により昨年度に引き続き、事前審議による議決権行使もしくは委任状でお願いしました。

6/20 の総会は、来場可能な役員が皆様からのご回答を確認する形式で進め、ご希望の会員様には Webinar で配信しました。その結果を報告いたします。

### 定時総会結果

#### 議案審議：

- ・議決権保有会員数：1,154（内訳：正会員 1,134、賛助会員 11、特別会員 9）
- ・議決権行使または委任状提出会員数：計 913（内訳：議決権行使 615、委任状提出 298）

定款第 30 条により総会成立。

次の第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案に対し、議決権行使（承認）または委任のあった会員数は、出席会員数（議決権行使または委任状提出会員）の過半数に達しているため、定款第 32 条により原案通り、承認されました。

また、第 4 号議案に対しては、議決権行使（承認）または委任のあった会員数は、議決権を有する会員数の 2/3 以上に達しているため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 49 条 2 項 4 号により、原案通り承認されました。

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算の件

第 2 号議案 2024 年度役員選任の件

第 3 号議案 2024 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件

第 4 号議案 定款の一部変更の件

#### 報告事項：

表彰及び報奨対象会員の報告があり、庄田新会長から賞状、感謝状が授与されました。

- ・業績表彰：中村勤氏
- ・功績表彰：野澤康平氏、前川幸子氏、太田知克氏、錠者恵子氏、兼松秀行氏、生貝初氏
- ・報奨対象：エス・アール商事株式会社

#### 説明会：

「抗バイオフィルム加工（付着抑制）」に関する説明（バイオフィルム委員会 太田副委員長）

以上

なお、次ページに野澤前会長と、庄田新会長のご挨拶を記載しますので、ご覧ください。

## 野澤前会長のご挨拶

今日も東京は 30 度を超える真夏のような暑い日が続いております。皆様適宜水分などを補給しながらご参加いただければと存じます。

さて、本日の総会ですが、事業計画、執行体制の変更の他にも本会の事業定款の改定など重要な議案が予定されております。当会の将来に係る重要な議案ですので、積極的なご審議をお願いしたいと存じます。

さて、私事ではございますが 2 年前の総会で会長職を拝命いたしました。2 年の任期とは長いようで短いものであったという間の出来事のように思います。当時は、ちょうどコロナウイルス感染症が猛威を振るっており、抗菌、抗ウイルスに対する関心は非常に高いものがありました。当然のように SIAA の抗菌、抗ウイルスに賛同いただく会員様が増加し、あちこちで SIAA のマークを見かける機会が増えたことは、大変喜ばしいことと思っております。

しかしながら会として、こうした追い風を受ける一方でアフターコロナという新しい生活様式のことを考えていくことも大切であり、菌やウイルスを単純に恐ろしいものとして恐怖をあおることは決して好ましいものではありません。そこで関係団体とも協力して正しい用語定義や広告の在り方を検討、また“菌との共生”というスローガンで微生物や公衆衛生に関する正しい啓発活動にも取り組ませていただきました。

おかげさまで、今日では SIAA マークは水回り製品に留まらず、飛行機や電車 ATM など生活シーンのあらゆるところで見かけるようになり、一般の消費者様にも広く認知されるようになりました。更に、SIAA は衛生関連技術のシンボルとして、新たにバイオフィームやアレル物質に対する抑制効果の認証の検討にも着手しております。

私は、本日をもって会長職を退任させていただきますが、快適な日常生活における衛生技術のシンボルとして SIAA が一層発展していくことを祈念し、私のあいさつとさせていただきます。

## 庄田新会長のご挨拶

先ほどの 2 号議案にて 2024 年度より会長に任命されました富士ケミカルの庄田と申します。

1998 年の本会発足以来、本会の会長は製品メーカー様が約 25 年間就任されてきました。剤メーカー出身会社が会長となるのは初めてのこととなります。

剤メーカーは、本会の多数を占める様々な業種の製品メーカー様、試験評価機関様と関わる機会が多く、製品メーカー様、試験評価機関様のご要望及び課題について幅広い情報・知見を持ち合わせていると自負しております。

このような剤メーカーの強みを生かし「SIAA マークの表示された抗菌商品が、消費者の皆様のご購入や、ご使用時の安心・安全・信頼の証」となるよう SIAA マークへの認知度や評価を向上させ、SIAA マークが販促・売上拡大の重要なツールとすべく会員企業様の参加意欲と満足度を高めていくことに邁進したいと思っております。

私事になりますが、抗菌関連とのかかわりは約 35 年になります。本会の前身、1993 年発足の「銀等抗菌剤研究会」携わって以来、抗菌業界には様々な分岐点がありました。

思い起こせば、1996 年「カイワレ大根を起因とする O-157 食中毒問題」による第 1 次抗菌ブーム、1997 年の「国民生活センター/たしかかな目による抗菌製品の効果・安全性の指摘問題」、1998 年の「旧通商産業省の抗菌加工製品のガイドライン制定」及び「当会による抗菌 SIAA マーク運

用開始」、2000年の「Z2801 抗菌試験方法の JIS 制定」、2004年の「鳥インフルエンザ問題」を起因とする第2次抗菌ブーム、2019年の「本会が主導して行った抗ウイルス試験方法の ISO 発行」そして2020年の「コロナウイルスを起因とする世界的なパンデミック」により第3次抗菌・抗ウイルスブームなど抗菌関連事業において大きな環境変化・市場変化がありました。

以上のような変遷を得て本会は約 1,200 社の会員を有する大きな団体となりました。これも会員の皆様をはじめ関係者の皆様の絶大なご支援のお陰と心より感謝申し上げます。

本会では 1998 年の抗菌 SIAA マーク運用開始以降、「2012 年防カビマークの運用開始」、「2019 年の抗ウイルスマーク運用開始」、「2021 年業務用除菌膜マーク運用開始」、「2021 年定期的性能チェック制度運用開始」、そして 2024 年には「抗バイオフィルムマーク運用開始」を進めてまいりました。

今後は、「抗バイオフィルムマーク運用」を本格化するとともに「抗アレルギーの試験方法の開発とその登録制度の検討を加速する」など、日々変化する市場・環境変化に応じて消費者が望む「抗菌を柱とした機能性製品・付加価値商品の新たな SIAA マーク」を製品メーカー様、試験評価機関様、剤メーカーが SIAA の枠組みの中、産官学に加え消費者団体様とも連携し、各委員会活動の連携協力により生み出し、SIAA の益々の発展、会員企業様の参加意欲と満足度を高めていきたいと考えます。

以上、会長就任の挨拶とさせていただきます。